

令和4年度「児童生徒自身によるネット利用 ルールづくり活動」事例紹介校実践報告書

1 学校の概要

- (1) 学校名 新座市立石神小学校
- (2) 学級数 21学級
- (3) 児童生徒数 585人
- (4) 教職員数 28人

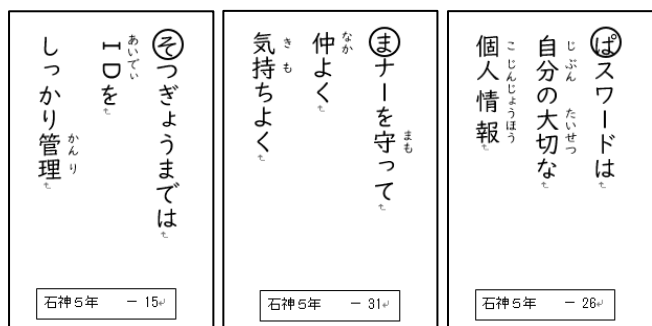
2 「児童生徒自身によるネット利用ルールづくり活動」に関する取組について

(1) 取組内容

①前年度までの取組

児童のタブレットの使い方に係るきまりが曖昧で、故障や破損、学習に関係のない使用などが見受けられた。

そこで、児童自身でタブレット端末の使い方を振り返る方法として、「タブレットかるた」(読み札)を作成し、児童1人1セットずつ配付し、月に2回(第2週に学校、第4週に家庭)振り返りを行った。



タブレットかるた (抜粋)

できなかった数	ランク	称号	ポイントアドバイス
0	S	タブレットマスター	あなたは、正しい使い方ができています。これからも、みんなの手本となるような正しい使い方を続けてください。継続して5を奪るとS2、S3と数字が増えています。
1~5	A	タブレット名人	あなたは、かなり正しくタブレットを活用できるようになりました。マスターまではあと一歩、これからも正しく使ってください。
6~10	B	タブレット上手	あなたは、タブレットの使い方が少しずつわかってきています。この調子で「どう使えばいいか」を考えながら使ってください。
11~15	C	タブレット見習い	あなたは、タブレットの使い方わからないことがあるかもしれませんが、わからないときは学校の先生やおうちの人と相談しましょう。
15~	D	タブレット練習中	タブレットは学校でも家庭でも、正しく使って勉強に役立てる道具です。どうすれば正しく使えるようになるか、学校の先生やおうちの人と相談しましょう。
その他	E		タブレットやタッチペンを破損してしまった場合はここになります。また、設定変更や勝手に設定変更、学習に関係のないサイトや動画等を見ていた場合もここになります。

(裏)

(表)

		年 級 名 前		
※毎月、学校と行うものでかたを返して、できたかどうかを確認しましょう。 ※学校と連携する項目は、家庭と連携する項目。				
月	できなかった読み札の文字	できなかった数	達成度ランク	サイン
学校		こ		
		こ		
家庭		こ		
		こ		
学校		こ		
		こ		
家庭		こ		
		こ		
学校		こ		
		こ		
家庭		こ		
		こ		

児童振り返り表 (表・裏)

②今年度の取組

児童の委員会活動での取組

○4月

今年度から「ICT委員会」に名称を変更した。(旧放送委員会の活動を一部継承)
「今年度の委員会では自分が取り組みたいこと」を明確にし、今後の見通しをもった。

○5月

ICT委員会としての今年度の目標の決定。

目標：全校児童がICTを身近にし、マナーやルールを守って使いこなせるようにする

○6月

4・5月のタブレットかるたの振り返り結果から、「タブレットかるたの結果を分析し、低・中・高学年ごとに苦手なところを解決するための方法を考える」活動をすることに決定。

○9月・10月

タブレットかるたの振り返りから、低・中・高学年の課題を整理し、それぞれのブロックに合った具体的な「タブレットの使い方の目標」を作成することに決定。
低・中・高学年の児童に合わせた具体的で分かりやすい内容になるよう文言を考えた。

○11月・12月

「タブレットの使い方の目標」が、より具体的にそれぞれの学年にあった内容になるよう、話し合いを行った。また、学級でのタブレットの使い方での気になることや、正しい使い方について調べる活動を行った。

○1月

「タブレットの使い方の目標」の内容の確認（文末表現等、それぞれの学年の児童に合った表現になっているか）。

作成した目標をどのように活用するかについて話し合った。

・全校児童への周知

→ 放送で伝える。また、各クラスに目標を掲示してもらう。

・目標の振り返りの仕方

→ 今年度は、「タブレットを大切に扱う」を目標にアンケートを作成し、分析結果を全校に伝える。

以上の内容について校長先生と相談し、放送内容と取組内容を決定。

「給食の時間に、全校児童向けのアンケートを呼びかけ、アンケートを実施し、分析結果を翌週に放送する」こととした。

<作成した「タブレットの使い方の目標」>

タブレットのつかいかたの目ひょう【低学年】		タブレットの使い方の目ひょう【中学年】		タブレットの使い方の目標【高学年】		タブレットの使い方の目標【共通】	
月	目ひょう	月	目ひょう	月	目標	月	目標
4月	タブレットはりょう手ではこぼろ。	4月	家での保かん場所を決めておこう。	4月	タブレットで勉強以外のサイトは開かないようにしよう。	4月	自分のものだけでなく、学校から借りていることを忘れずに。
5月	つえがきれいなじょうたいでつかおう。	5月	いつも両手で運ばず(2台目はありません)。	5月	タブレットを使う前に、肌を片付けよう。	5月	タブレットは勉強するための道具です。
6月	タブレットをもってぶざけない。	6月	パスワードは自分だけの個人情報。 人に見せないようにしよう。	6月	自分でだめなことに気付こう。	6月	整理整頓されたきれいな場所でタブレットを使おう。
7月	つよとじない。 どしどしタブレットにやさしく。	7月	タブレットの上下に物をおかない、はさまない。	7月	9時までには学校とタブレットの準備をしよう。	7月	いつも両手で安全に運ぼう。
8・9月	キーボードはたたかない。	8・9月	タブレットの上下に物をおかない、はさまない。	8・9月	タブレットで勉強以外のサイトは開かないようにしよう。	8・9月	タブレットの保管場所は、家では落ちないところに置こう。
10月	こわれないようにつづえとがたい。	10月	家に帰ったら必ず充電をしよう。	10月	自分でだめなことに気付こう。	10月	調べ物や学習のためにタブレットを使おう。
11月	タブレットではタブを出しすぎない。 クリックしたら、いったんきゅうけい。	11月	【3年】きのうをおぼえてかんたんに 【4年】苦手な教科はキュービナで復習	11月	9時までには学校とタブレットの準備をしよう。	11月	かべ紙や設定は変えずに使おう。
12月	タブレットはみんなのたからもの。 たいじにしまってもちかえろ。	12月	【3年】きのおぼえをかんたんに 【4年】苦手な教科はキュービナで復習	12月	タブレットで勉強以外のサイトは開かないようにしよう。	12月	ノートでもタブレットでも、学習に集中して学びを深めよう。
1月	カメラのつかいかたをマスターしよう。	1月	【3年】きのおぼえをかんたんに 【4年】苦手な教科はキュービナで復習	1月	タブレットを使う前に肌を片付けよう。	1月	いつも両手で安全に運ぼう。
2月	かってにせつていはかえしません。	2月	【3年】きのおぼえをかんたんに 【4年】苦手な教科はキュービナで復習	2月	自分でだめなことに気付こう。	2月	ノートでもタブレットでも学習に集中して学びを深めよう。
3月	つかわないうときはタブレットをどしよう。	3月	【3年】きのおぼえをかんたんに 【4年】苦手な教科はキュービナで復習	3月	9時までには学校と学校の準備をしよう。	3月	タブレットの保管場所は、家では落ちないところに置こう。

○2月

アンケートの分析の仕方について指導し、担当を分け、分析を行う。

今後の放送・分析の分担を決め、放送原稿の作成の仕方についても指導した。

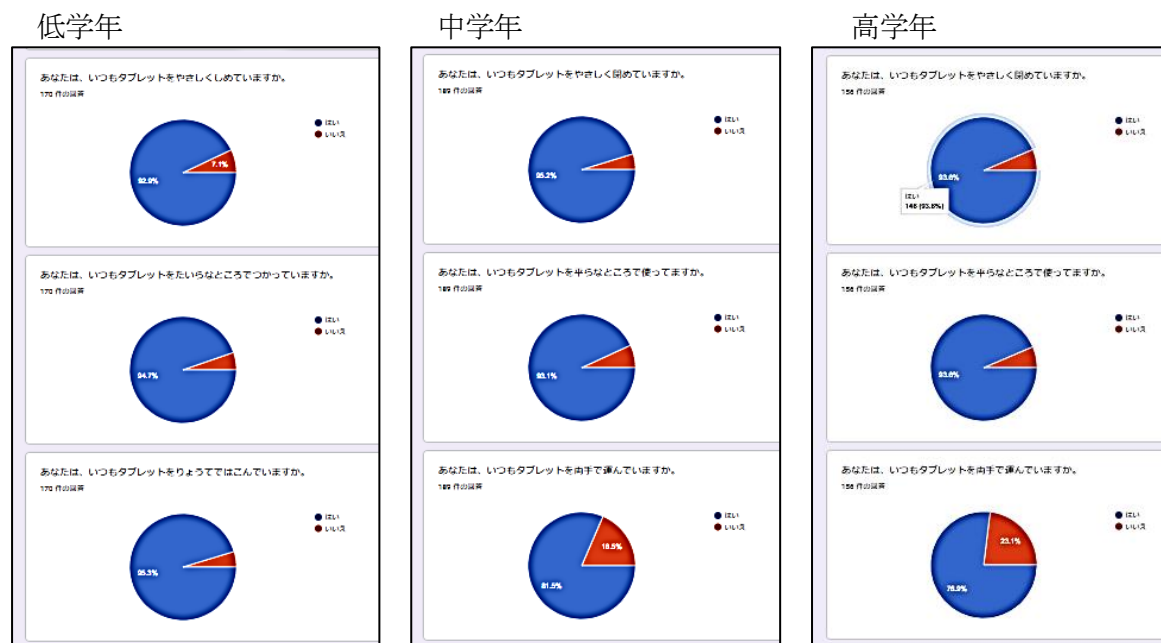
以降、毎週火曜にアンケート実施し、翌週月曜に分析結果を放送。

(2) アンケートの集計と分析について

毎週火曜の朝学習の時間にGoogle フォームを活用し、低中高別にアンケートを実施。「いいえ」と答えた割合や前回との変化等を調べ、アンケートの内容を変更。

令和4年度の目標「タブレットを大切にし、壊さないようにする」

< 2月7日に行ったアンケートの結果 >



< 児童の分析結果 >

- ・低学年児童は、基本的に大切に扱っているが、開閉動作に課題がある。
- ・中・高学年児童は、両手で持たずに運んでいる。
→特別教室での授業等、移動が多い。
体が大きくなり、両手で持たなくても持ち運べる。

このような分析結果を放送で伝え、再度アンケートに取り組んだところ、すべての項目で「はい」の割合が増え、児童の「タブレット端末を大切に使う」という意識が高まった。また、このアンケートには「タブレットをていねいに使うために、気をつけていることがあれば、記入してください。」という自由記述欄も設けてあり、改善が見られたアンケート項目は、児童からのコメントをもとに変更している。

低学年…「あなたはいつもタブレットをりょうでではこんでいますか」

↓達成者多数のため、

「あなたはいつもがめんやキーボードをやさしくおしていますか」に変更 など

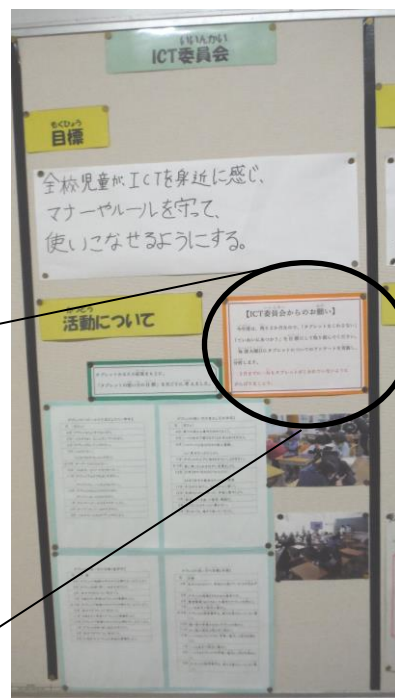
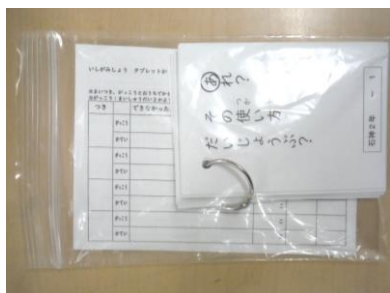
3 広報活動について

(1) 活動内容及び実施期間

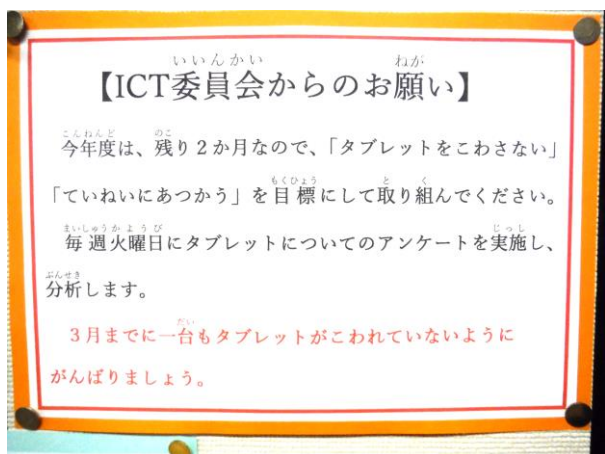
- ① 4月14日 (木) ICT委員会発足
- ② 5月12日 (木) 今年度の目標決定。
- ③ 1月20日 (金) 「タブレットの正しい使い方の目標」を放送にて全校に周知
- ④ 1月26日 (木) 全校児童向けのアンケートの呼びかけ
- ⑤ 1月31日 (火) 以降、毎週火曜にアンケート実施
月曜までに結果の分析と放送原稿作成
火曜に給食の時間にアンケート分析結果を放送

(2) その他

①昨年度から取り組んでいる、「タブレットかるた」と「振り返り表」



②活動内容を委員会コーナーの掲示（児童への呼びかけ）



4 活動の成果と課題

(1) 昨年度の成果と課題

①成果

- ・タブレットかるたによって、児童のタブレット端末の取り扱い方に対する正しい使い方が浸透した。
- ・教職員の共通理解が深まり、児童に指導する際、「タブレットかるたに書いてある」といった指導が共通して行えるようになった。

②課題

- ・タブレットかるたは、教員から児童に伝える形になっており、児童自身が気を付けようという意識が高まらなかった。
- ・今年度になり、使うアプリが変わり、「タブレットかるた」の児童や授業の実態に合わないものがでてきた。

(2) 今年度の成果と課題

①成果

- ・タブレットかるたの振り返りの集計から、低・中・高学年の課題が明確になり、児童自身が具体的な目標をたてることができた。
- ・今年度は「タブレットを大切に使う」という目標を児童が考え、自分たちでできることを考え、実践することで、委員会児童が自信をもって活動に取り組めた。
- ・児童自身がアンケート結果を分析し、周知することができた。
- ・児童が呼びかけるようになり、タブレットの扱いが丁寧になり、児童の不注意による故障が0になった。

②課題

- ・今年度、委員会児童がつくった「タブレットの使い方の目標」を来年度の委員会でのどのように活用していくか。
- ・今年度はタブレット端末の取り扱い方が中心となったので、来年度以降は、タブレットを学習用途以外で使う児童に向けた取組に広げていきたい。